



煌めけ真壁っ子

学校便り 第 4 号
令和 4 年 5 月 25 日発行
学校長 津嘉山 博好

クラブ発足式を行いました

5月16日(月)の6校時、今年度のクラブ活動がスタートしました。4年生以上で5つの縦割り班を作り、琉舞、将棋・オセロ、スポーツ、生け花、しまくとぅばの5つのクラブをローテーションしながら体験します。1学期のみですが、毎週月曜日6校時に実施していきます。琉舞、生け花、しまくとぅばの3つは、外部から講師の先生を招き、指導していただきます。それぞれのクラブの楽しさだけでなく、講師の先生方とも積極的に関わり、人間関係作りに役立ててほしいと思います。



スポーツクラブ



琉舞クラブ



しまくとぅばクラブ



生け花クラブ



将棋・オセロクラブ

読み聞かせが始まりました

5月16日(月)には、朝の読み聞かせも始まりました。お忙しい中、子ども達のために早い時間から集まっていた、各学年の教室で本を読んでもらいました。学年を問わず、どの子も読み手に真剣な眼差しを向けて聞き入っていました。読み聞かせが、子ども達の情操教育と言語教育に大いに役立っていきます。保護者の皆様、今後ともよろしくお願いたします。



6月の行事予定

- 1日(水)委員会活動
教育相談旬間(~16日)
- 6日(月)クラブ活動
- 13日(月)クラブ活動
- 15日(水)音楽朝会
- 17日(金)学習発表会準備
- 19日(日)学習発表会
学校運営協議会
- 20日(月)読み聞かせ
- 23日(木)慰霊の日
- 24日(金)振り替え休日
(学習発表会)
- 27日(月)クラブ活動
- 28日(火)避難訓練
(地震・津波)
- 29日(水)授業研究会(6年)
- 30日(木)歯科講話(4年)
歯の漏れ検査

自己指導能力を育てる

学校は、教育活動全体を通じて、子ども達の自己指導能力を育成することを目指しています。自己指導能力とは、「そのとき、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行する能力」を指し、適切な行動とは「自分のためにもなり、他の人のためにもなる行動」と捉える事ができます。自己指導能力の育成に向けては、すべての教育活動において下記の3つ機能を生かすことが大切とされており、授業を始め、学校で行うすべての活動で大切にしています。

1 自己決定の場を与える

子どもが自分で考え、判断して、決めて、実行できる場面を意図的に設定します。このことが、自分のことは自分で決めて行動できるという気持ち(自己決定感)を育てることにつながります。

2 自己存在感を与える

子ども達一人一人をかけがえのない存在として捉え、その個別性や独自性を大切にします。このことが、ありのままの自分を受け入れる気持ち(自己受容感)や、自分のよさや頑張りに気付いたり(自己肯定感)、自分は他者の役に立つという気持ち(自己有用感)を育てたりすることにつながります。

3 共感的人間関係を育てる

子どもをありのままに受け止めます。このことが、自分は周りの人から認められているという気持ち(他者受容感)を育てることにつながります。

お気づきの通り、保護者の皆様が、お子さんが生まれたときからしていることですね。

少し前ですが、すてきな詩を見つけましたので、紹介します。

子育て計算式
神戸市 女性

子育てなどと
親は上から目線で
偉そうなことを
言うけれど
子育てとは実の所
子どもに寄り添うこと

計算式は
至ってシンプルで
足し算でも引き算でも
割り算でもなく
手間ひま掛ける
目を掛ける
心を掛けるの
三つの掛け算

(平成二十九年九月
産経新聞「朝の詩」から)

「乳児はしっかり肌を離すな」「幼児は肌を離せ手を離すな」「少年は手を離せ目を離すな」「青年は目を離せ心を離すな」という子育て四訓というものもあるそうです。